

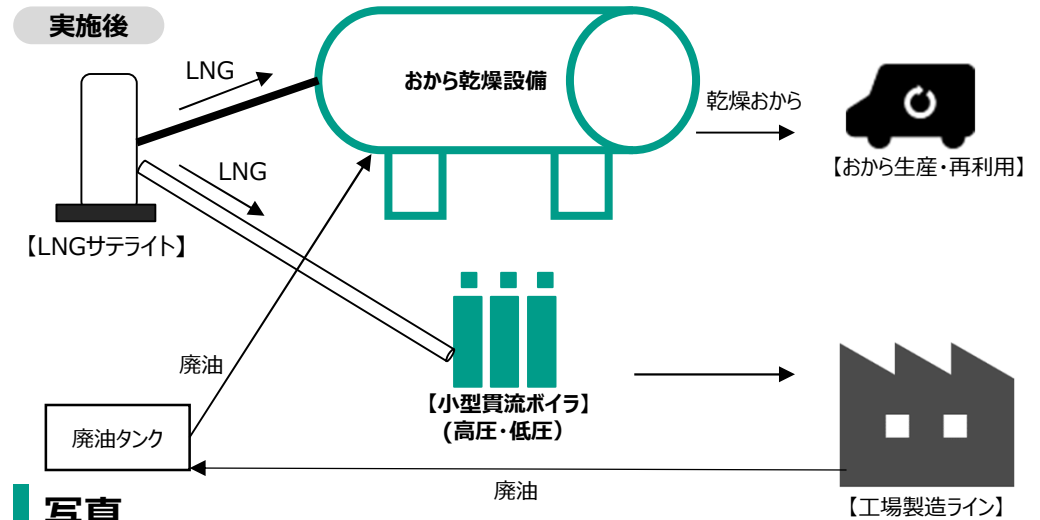
9.1 設備の高効率化改修支援事業<熱利用設備の低炭素・脱炭素化による省CO₂促進事業>

① 熱利用設備導入による環境負荷軽減及び他社との差別化の実現

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社みすずコーポレーション
	業種	製造業
事業所	所在地	長野県
	総延床面積	12,751m ²
補助金額	補助金額	約7,280万円
	補助率	1/2
主な導入設備	従前設備	-
	導入設備	おから乾燥設備、小型貫流ボイラ（高圧1台・低圧2台）
事業期間	稼働日	2021年10月
区分		新設
特長		新設の工場内に小型貫流ボイラ（高圧・低圧）を導入するとともに、廃油とLNGを燃料としたおから乾燥設備を導入することで、おからを生産、再利用して、低炭素化・脱炭素化による環境負荷軽減及び地域内の経済循環を図っている。また、環境負荷の少ないエネルギーで生産・再利用された製品として他社との差別化を実現した。

システム図



写真

おから乾燥設備



小型貫流ボイラ



9.1 設備の高効率化改修支援事業(熱利用設備の低炭素・脱炭素化による省CO₂促進事業)

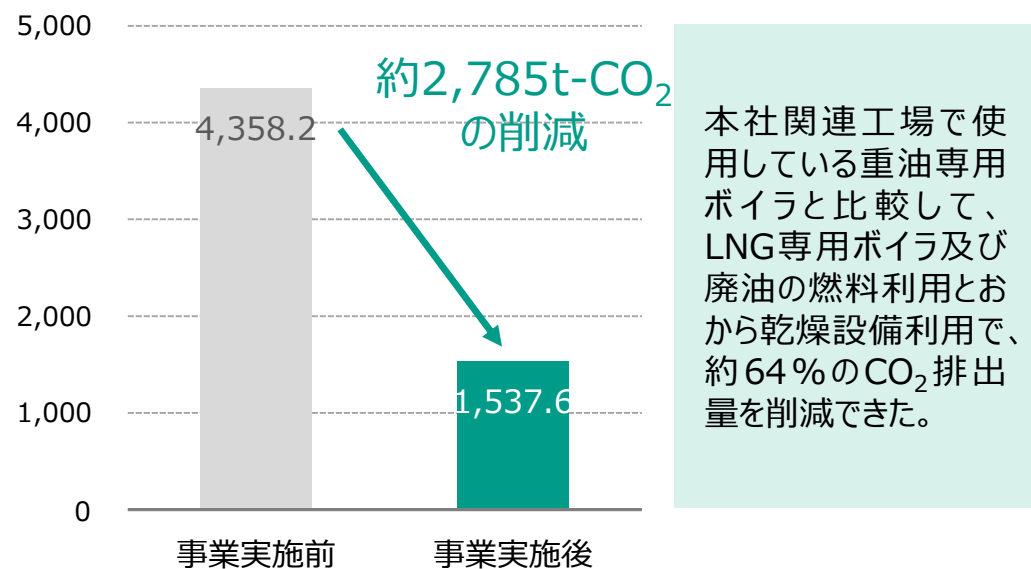
① 熱利用設備導入による環境負荷軽減及び他社との差別化の実現

事業の効果

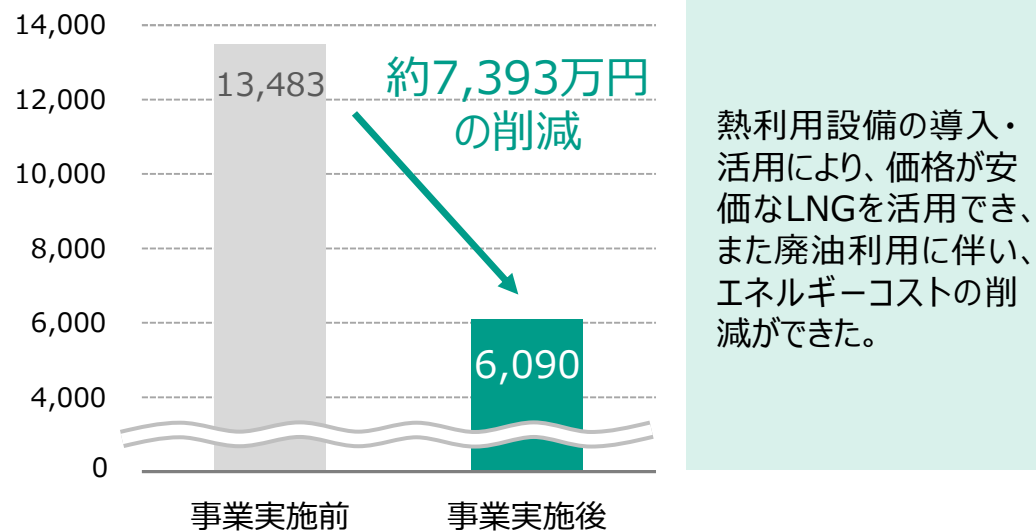
エネルギーコスト削減額		約7,393万円/年
投資回収年数	補助あり	約1年
	補助なし	約2年

CO ₂ 削減量	約2,785t-CO ₂ /年
CO ₂ 削減コスト	2,614円/t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂/年)



エネルギーコスト (万円/年)



【脚注】
 ※ ここに示す事業の効果は、A重油単価：83,840円/kl（出典：資源エネルギー庁）を用いて試算したものである。）

① 熱利用設備導入による環境負荷軽減及び他社との差別化の実現

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

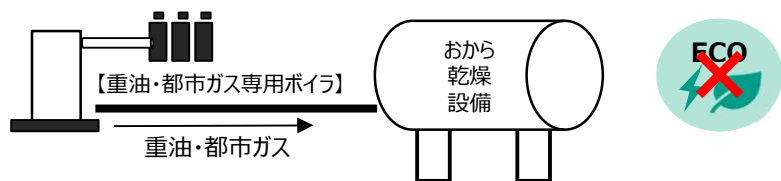
■ おから乾燥設備と小型貫流ボイラの導入によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- 設備導入によりLNGを燃料とする小型貫流ボイラの導入や、環境に配慮したLNG及び菜種油の廃油をおから乾燥設備の燃料として利用することで、環境負荷の少ないエネルギー利用につながった。
- 環境負荷の少ないエネルギーで生産・再利用された製品として他社との差別化を実現した。
- LNG及び菜種油の廃油を燃料とするおから乾燥設備導入によって、おからを全量乾燥して、乾燥おからの製品として生産・再利用できた。

環境に配慮したLNGや廃油を燃料として利用

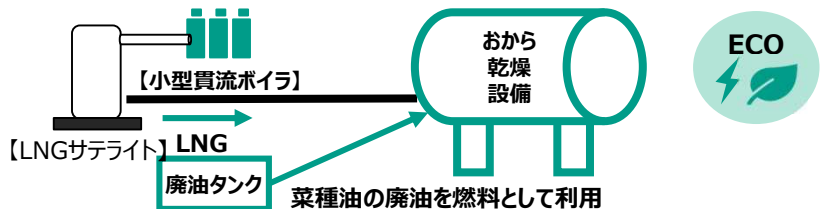
実施前

本社関連工場では重油を燃料として重油専用のボイラ及び重油を燃料として使用し、環境汚染リスクが高い



実施後

LNG専用ボイラ及びLNGや菜種油の廃油を燃料としておから乾燥設備を利用し環境汚染リスクが軽減する

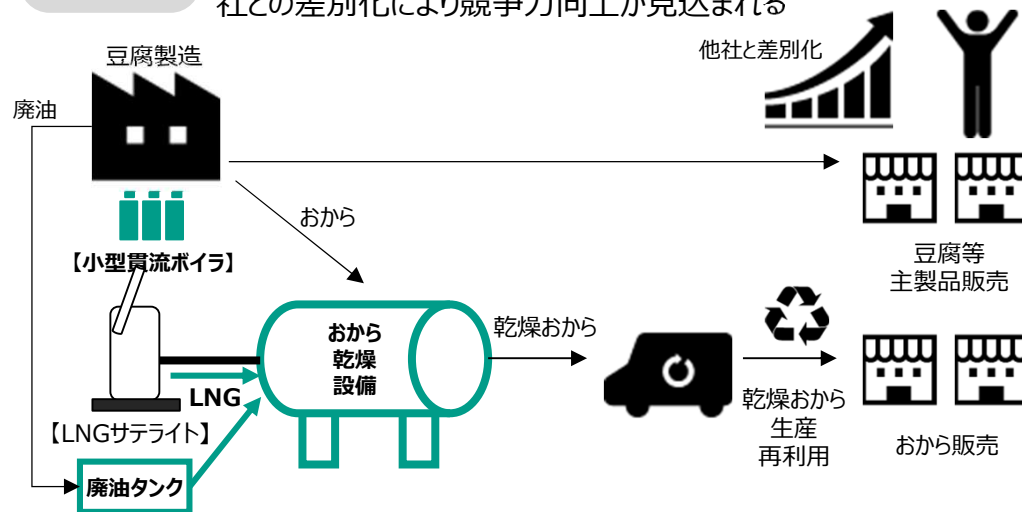


LNG専用ボイラや廃油利用で環境汚染リスクが軽減する。

他社との差別化によって競争力向上

実施後

環境負荷の少ないエネルギーで生産・再利用された製品として他社との差別化により競争力向上が見込まれる

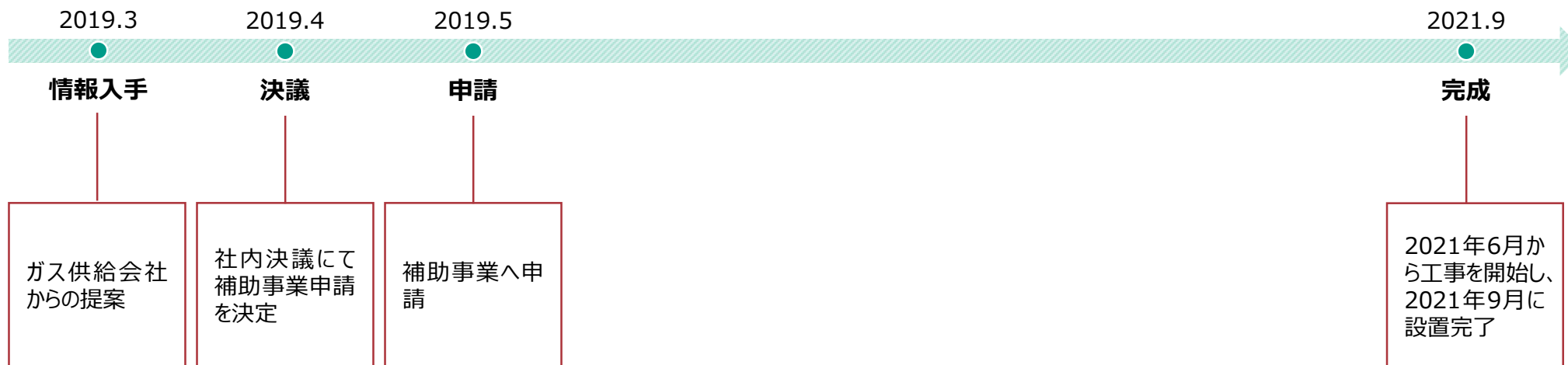


設備導入により他社との差別化により競争力が向上が期待できる。

9.1 設備の効率化改修支援事業(熱利用設備の低炭素・脱炭素化による省CO₂促進事業)

① 熱利用設備導入による環境負荷軽減及び他社との差別化の実現

事業の経緯／今後の予定



事業者の声

荒井純一

株式会社みすずコーポレーション 設備統括本部 省エネ対策部 部長

- 工場を新設するにあたり、省エネ化及び環境に配慮した機器の選定に加え燃料の選定も重要項目でした。
- 環境負荷の低減が図れるLNGを選択すると共に生産工程で発生する廃油をおから乾燥の燃料として利用できる設備を採用した。
- 省エネ・環境配慮・コスト削減を同時に達成できた工場となりました。

